

日本人の源流・ 神話を訪ねて

受講料 1200円
(3回分一括)

—令和の時代に考える神話・天皇の肖像—

今年は、126代目の天皇が誕生した御代替わりの年です。日本の皇室は初代神武天皇の即位以来、2679年続いていて、世界最古の王朝と呼ばれます。これだけ長く続く理由は何でしょうか。実は古事記が伝える神話に、その理由があるのです。古事記を編纂させたのは40代天武天皇ですから、天武天皇の願いが奏功して、皇室は永続しているとも言えます。そうした観点から神話の魅力を読み解いていきましょう。

7/8
(月)

国譲り 皇祖神・天照大御神の誕生

8/19
(月)

皇統への助走 日向三代



9/9
(月)

東征 初代天皇の誕生

【各回】10:00～11:30



講師 安本 寿久 氏

兵庫県生まれ。産経新聞社会部次長、編集局次長兼総合編集部長、産経新聞編集長などを経て特別記者編集委員。著書に『評伝廣瀬武夫』、共著に『親と子の日本史』『坂の上の雲をゆく』『人口減少時代の読み方』など。ラジオ大阪「ニューストウナイト いいおとな」アンカーマン。

※「神話取材班キャップ」として執筆

『国民の神話～日本人の源流を訪ねて』(平成26年 産経新聞出版刊)

『神話の中のヒメたち～もうひとつの古事記』(平成30年 産経新聞出版刊)

申込方法

①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号 を記入の上、令和元年6月15日までに、はがきかファックスで公民館へ(応募多数の場合、市民優先のうえ抽選)。結果は、はがきでご連絡いたします。

【あて先】〒659-0068 芦屋市業平町8-24 芦屋市立公民館 FAX:0797-31-4998

定員 90名
芦屋市民センター
401室

主催・連絡先：芦屋市立公民館 TEL：0797-35-0700